

目加田誠 めかた 誠 支那文學者、文學博士。明治二十七年二月山口縣岩國生れ（一九〇一）。水戸高等學校を經て、昭和四年東京帝國大學文學部支那文學科卒。第二高等學校教授、九州大學教授歴任。

著書『中等時文教科書』（編、昭和十四年二月）、『詩經』（昭和十八年二月十五日本評論社「東洋思想叢書」）、『風雅集（中國文學の研究と雜感）』（昭和二十一年七月五日信信堂「人文叢書」）、『新釋詩經』（昭和二十九年一月）、『二十五日岩波書店「岩波新書」』、『洛神の賦—中國文學論文と隨筆』（昭和四十一年十一月二十五日武蔵野書店）、『鹿京』（昭和四十一年十一月二十五日岩波書店）『岩波新書』（編、昭和十四年二月）、『海詩叢書』（昭和五十四年四月）、『時事通信社』、『隨想』、『秋のら冬へ』（昭和五十四年九月）『二十五日龍溪書舎』等。

